

平成27年度  
岡山県学力・学習状況調査  
結果のまとめ

☆実施日：平成27年4月21日

☆実施学年：中学校第1学年

☆実施内容：学力調査（国語・社会・数学・理科）  
学習状況調査

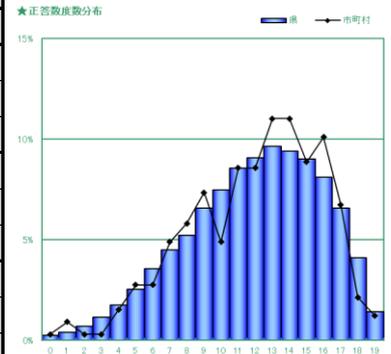
平成27年7月  
瀬戸内市教育委員会

平成27年度岡山県学力・学習状況調査(中学校第1学年実施) 瀬戸内市の結果概要

1 学力調査結果概要

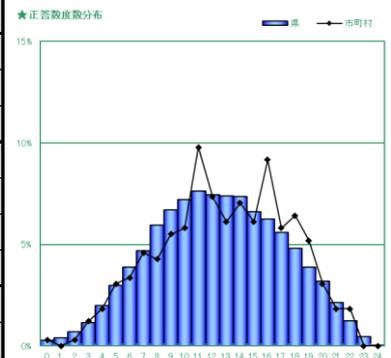
(1)国語

分類	区分	平均正答率		
		瀬戸内市	県	県との差
基礎活用	教科全体	63.1	62.7	0.4
	基礎	65.3	65.0	0.3
	活用	57.1	56.3	0.9
領域	書くこと	57.0	56.8	0.2
	読むこと	45.6	44.3	1.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	68.6	68.2	0.4
観点	書く能力	57.0	56.8	0.2
	読む能力	45.6	44.3	1.3
	言語口についての知識・理解・技能	68.6	68.2	0.4



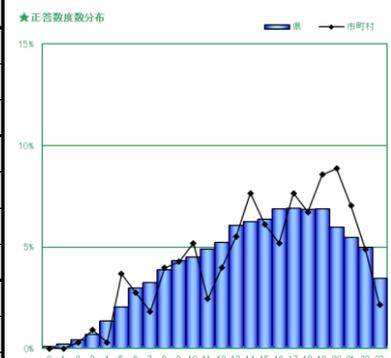
(2)社会

分類	区分	平均正答率		
		瀬戸内市	県	県との差
基礎活用	教科全体	53.6	51.6	2.0
	基礎	58.9	56.2	2.6
	活用	33.6	34.1	▼0.5
領域	我が国の国土と地域の様子	48.5	47.9	0.6
	我が国の由活と産業の様子	60.9	60.2	0.7
	我が国の歴史	56.7	53.6	3.1
	我が国の政治の働き	54.1	48.6	5.5
観点	社会的な思考・判断・表現	33.6	34.1	▼0.5
	資料活用の技能	57.5	54.4	3.0
	社会的事象口についての知識・理解	59.1	56.6	2.5



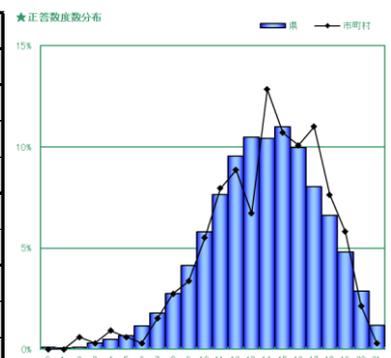
(3)数学

分類	区分	平均正答率		
		瀬戸内市	県	県との差
基礎活用	教科全体	65.2	63.4	1.7
	基礎	68.2	66.2	2.0
	活用	56.5	55.6	0.9
領域	数と計算	76.3	74.9	1.4
	量と測定	57.8	55.8	2.1
	図形	55.3	53.6	1.7
	数量関係	69.1	67.4	1.7
観点	数学的な考え方	60.5	59.2	1.3
	数量や図形口についての技能	75.6	73.7	1.9
	数量や図形口についての知識・理解	55.6	53.6	2.0



(4)理科

分類	区分	平均正答率		
		瀬戸内市	県	県との差
基礎活用	教科全体	66.5	65.7	0.8
	基礎	69.4	69.1	0.2
	活用	60.8	58.7	2.1
領域	物質・エネルギー	60.4	60.9	▼0.6
	生命・地球	74.7	71.9	2.7
観点	科学的な思考・表現	62.6	61.5	1.1
	観察・実験の技能	51.7	52.6	▼0.9
	自然事象口についての知識・理解	83.4	81.9	1.5



# 国語 設問別回答状況

大問番号	通し番号	問題の内容	領域	出題のねらい	市町村	県	県との差
1	1	漢字の読み	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	小学校で学習した漢字を読むことができる。	80.7	81.2	-0.5
	2				95.1	93.1	2.0
	3				96.6	97.9	-1.2
	4				97.9	98.3	-0.5
	5	漢字の書き		小学校で学習した漢字を書くことができる。	63.0	53.9	9.1
	6				68.5	60.9	7.6
	7				48.0	55.4	-7.4
	8				49.2	46.2	3.0
2	9	文法・語句に関する知識	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	文の意味のつながりを考えて、一文を二文に分けて書くことができる。	53.2	50.7	2.5
	10			主語と述語を理解することができる。	49.8	57.3	-7.4
	11			故事成語を理解することができる。	46.8	46.1	0.7
	12			慣用句を理解することができる。	74.3	77.2	-2.9
3	13	リーフレットの作成	書くこと	目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考えて書くことができる。	47.1	50.2	-3.1
	14			目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考えて書くことができる。	65.7	64.5	1.2
	15			目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考えて書くことができる。	77.1	75.9	1.2
	16			目的に応じて文章を読み取り、それを良くするための意見を提案することができる。	28.1	27.9	0.3
3	17			目的に応じて文章と意見を読み取り、条件に沿ってまとめを書くことができる。	67.0	65.6	1.4
4	18	説明文の読み取り	読むこと	文章の内容を整理して、時系列を正しく理解することができる。	24.8	26.8	-2.0
	19			文章を読んでうかんだ疑問点について、新たに資料を使って自分で調べて学習することができる。	66.4	61.8	4.5
					63.1	62.7	0.4

## 社会 設問別回答状況

大問番号	通し番号	問題の内容	領域	出題のねらい	市町村	県	県との差
1	1	岡山県の様子	我が国の国土と地域の様子	岡山県の河川について、その名称と位置を理解している。	26.3	34.3	-8.0
	2			岡山県の平野について、その名称と位置を理解している。	56.0	51.7	4.3
	3			岡山県の周辺の県について、その名称と位置を理解している。	72.8	73.4	-0.6
	4			岡山県の周辺の海洋について、その名称を理解している。	74.6	69.0	5.6
2	5	世界の中の国土	我が国の国土と地域の様子	日本の位置について、地図を読み取ることができる。	62.7	58.3	4.4
	6			大韓民国の名称と位置を理解している。	79.2	77.2	2.0
	7			北方領土の構成や背景を理解している。	16.5	23.8	-7.3
3	8	日本の国土と気候	我が国の国土と地域の様子	日本海側の気温と降水量のグラフを選択することができる。	37.6	34.0	3.6
	9			出雲地方に築地松が多く見られる理由を、複数の資料をもとに考察し、その内容を表現することができる。	56.9	53.7	3.1
	10			同じ季節でも地域によって気候が異なる理由を、資料をもとに考察し、その内容を表現することができる。	2.8	4.0	-1.2
4	11	日本の工業生産	我が国の生活と産業の様子	自動車生産の工程の様子について、資料をもとに写真を合致することができる。	76.5	74.1	2.3
	12			自動車の関連工場の役割について理解している。	72.8	71.7	1.1
	13			豊田市の工業生産の様子について、複数の資料をもとに考察し、その内容を表現することができる。	33.3	34.7	-1.4
5	14	戦国時代の社会	我が国の歴史	戦国大名の勢力図をもとに、織田信長の領土拡大の状況について把握することができる。	72.2	71.0	1.1
	15			長篠の戦いについて理解している。	96.3	93.8	2.5
	16			長篠の戦いについて理解している。	78.3	65.4	12.8
	17			豊臣秀吉の政策や功績について理解している。	34.3	36.4	-2.2
	18			豊臣秀吉による検地の目的について、複数の資料をもとに考察し、その内容を表現することができる。	33.3	32.8	0.5
6	19	明治時代の社会	我が国の歴史	日清戦争について理解している。	57.8	53.1	4.6
	20			外国と結んだ不平等条約による影響について、領事裁判権の側面から考察し、その内容を表現することができる。	41.9	45.3	-3.4
	21			陸奥宗光の功績について理解している。	66.4	54.2	12.2
	22			関税自主権について理解している。	30.0	29.9	0.1
7	23	国の政治	我が国の政治の働き	国会の働きと国民との関わりについて理解している。	51.1	40.9	10.2
	24			裁判員制度の導入の目的について理解している。	57.2	56.3	0.9
					53.6	51.6	2.0

# 数学 設問別回答状況

大問番号	通し番号	問題の内容	領域	出題のねらい	市町村	県	県との差
1	1	整数の減法、分数	数と計算	繰り下がりのある減法(3位数-2位数=3位数)の計算をすることができる。	93.0	91.1	1.8
	2	小数や分数の計算		小数の加法(小数第1位+小数第1位)の計算をすることができる。	94.8	93.8	1.0
	3	四則計算の性質、グラフの読み取り	数量関係	減法と除法の混合した整数の計算をすることができる。	82.0	83.2	-1.2
	4	小数や分数の計算	数と計算	分数の除法(約分あり)の計算をすることができる。	89.3	93.3	-4.0
	5			減法と乗法の混合した、整数と小数と分数の計算をすることができる。	63.0	59.3	3.7
2	6	整数の減法、分数	数と計算	数量を等分したときの1つ分の量は分数で表せることを理解している。	49.8	47.8	2.0
	7	立体図形	図形	展開図から、組み立てたときにできる立体の見取図を選択できる。	78.9	77.6	1.3
	8	体積、単位量あたりの大きさ	量と測定	メートル法の単位のしくみについて理解し、最も近い量を選択できる。	59.0	58.0	1.0
	9	立体図形	図形	円柱の展開図から、側面の長方形の横の長さを求めることができる。	50.5	46.9	3.6
	10	体積、単位量あたりの大きさ	量と測定	円柱の展開図から、組み立てたときにできる円柱の体積を求めることができる。	58.1	54.7	3.4
	11			単位量あたりの値を求める式を選択できる。	39.1	38.2	1.0
3	12	比、反比例、変わり方調べ	数量関係	比を用いて、全体の量から一方の量を求める式を選択できる。	60.6	53.2	7.3
	13	四則計算の性質、グラフの読み取り		柱状グラフから、累積度数を読み取ることができる。	89.6	87.9	1.7
4	14	比、反比例、変わり方調べ	数量関係	反比例の意味について理解している。	38.8	35.7	3.2
5	15	平面図形の面積	量と測定	ひし形の面積の求め方について、示された例を基に、2つの三角形に分けて求める考え方について説明することができる。	68.8	66.4	2.4
	16			ひし形の面積の求め方について、ひし形を長方形に変形して求める考え方を表している式を選択できる。	73.4	72.4	0.9
	17			ひし形の面積の求め方について、ひし形を二等辺三角形に変形して求める考え方に等積変形が用いられていることを説明することができる。	55.0	54.3	0.8
	18			ひし形の面積の求め方について、ひし形を二等辺三角形に変形して求める考え方の説明を、言葉や式を用いて完成させることができる。	51.4	46.2	5.1
6	19	四則計算の性質、グラフの読み取り	数量関係	2つの折れ線グラフを読み取ることができる。	78.3	77.7	0.5
	20	小数や分数の計算	数と計算	場面と図とを関連付けて、2つの数量の関係を理解している。	67.9	64.2	3.7
7	21	対称な図形、縮図や拡大図	図形	線対称な図形といえる家紋を選択し、その図形の対称の軸の本数を求めることができる。	71.9	67.6	4.3
	22			縮図や拡大図について理解し、モデル化された図から岡山城の天守閣の高さを求めることができる。	19.9	22.2	-2.4
8	23	比、反比例、変わり方調べ	数量関係	規則的に並んだ正方形の紙の枚数について、示された例を基に、10番目の図の枚数の求め方について説明することができる。	65.4	66.7	-1.3
					65.2	63.4	1.7

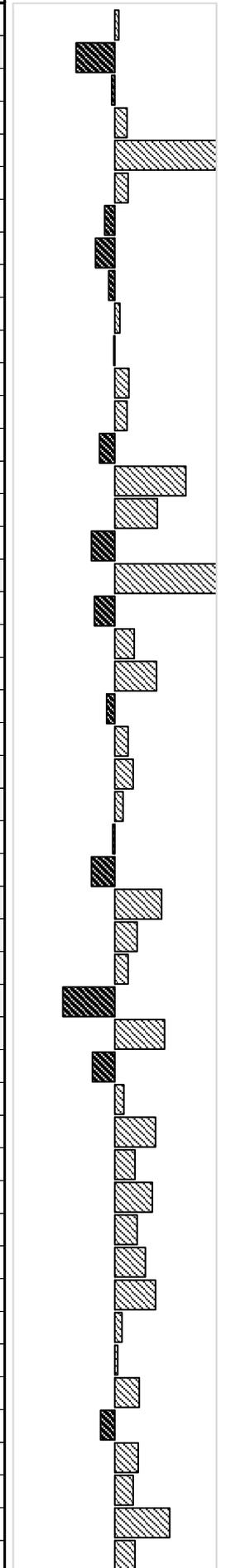
# 理科 設問別回答状況

大問番号	通し番号	問題の内容	領域	出題のねらい	市町村	県	県との差
1	1	1年間の生物のようす	生命・地球	サクラの1年間のようすがわかる。	58.7	58.1	0.6
	2			ヘチマの実の中には種ができることがわかる。	89.9	90.2	-0.2
	3			冬のヒキガエルのようすがわかる。	91.4	90.4	1.1
	4			暖かくなったときの植物と動物のようすがわかる。	90.2	89.8	0.4
2	5	電流のはたらき	物質・エネルギー	日光が当たらないと光電池はモーターを回せないことがわかる。	89.0	91.0	-2.0
	6			乾電池のつなぎ方から、もっとも速く走る車がわかる。	41.3	45.1	-3.8
	7			実験の変える条件、変えない条件がわかる。	68.5	68.7	-0.2
3	8	月と太陽	生命・地球	方位を調べる道具を、「方位磁針」とよぶことがわかる。	90.5	88.7	1.8
	9			方位磁針の正しい使い方がわかる。	41.6	36.6	4.9
	10			月が光る理由を理解し、月の見え方を推測することができる。	70.3	67.7	2.7
	11			月の動き方がわかる。	59.3	51.9	7.5
	12			満月のときの、太陽の光に対する月の位置がわかる。	79.8	74.1	5.7
4	13	物のとけ方	物質・エネルギー	メスシリンダーを使うときの液面の読み方がわかる。	94.8	96.2	-1.4
	14			てこのはたらきから、水の重さの求め方がわかる。	29.1	32.5	-3.5
	15			水に溶け残りがあっても全体の重さが変わらないことがわかる。	57.8	60.3	-2.5
	16			水に溶けた食塩のようすがわかる。	53.5	54.6	-1.1
	17			溶解度のグラフから、溶け残ったものがミョウバンであることを説明できる。	39.4	33.5	6.0
	18			溶け残ったミョウバンをすべて溶かす方法がわかる。	80.1	78.7	1.4
5	19	物の燃え方	物質・エネルギー	炭が燃えているときの空気の流れがわかる。	83.8	82.5	1.3
	20			こんろの穴を再び開けると、炭の燃え方が強くなる理由を説明できる。	64.2	58.8	5.4
	21			まわりの空気とつぼの中の空気中の気体の体積の割合がわかる。	22.9	29.4	-6.4
					66.5	65.7	0.8

## 2 学習状況調査結果の概要

	質問項目	瀬戸内市	県	県との差	昨年6学年時の調査との差
1	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある	96.9	96.5	0.4	2.4
2	自分には、良いところがあると思う	76.8	80.6	-3.8	3.7
3	将来の夢や目標をもっている	83.8	84.1	-0.3	0.1
4	新聞やテレビのニュースなどに関心がある	73.0	71.8	1.2	
5	今住んでいる地域の行事に参加している	77.1	67.1	10.0	-7.2
6	学校のきまりを守っている	97.5	96.2	1.3	4.5
7	友だちとの約束を守っている	96.9	97.9	-1.0	0.4
8	人が困っているときには、進んで助けている	83.8	85.7	-1.9	
9	近所の人に会ったときには、あいさつをしている	92.1	92.7	-0.6	
10	人の気持ちがわかる人間になりたいと思う	95.4	94.9	0.5	
11	場面や相手に応じた言葉づかいで話すようにしている	90.8	90.9	-0.1	
12	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	98.5	97.1	1.4	1.1
13	人の役に立つ人間になりたいと思う	96.6	95.4	1.2	1.2
14	何のために勉強するのか、自分なりに考えている	79.8	81.3	-1.5	
15	学校の行事や授業以外で、自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある	84.5	77.5	7.0	
16	学校の行事や授業以外で、年齢の異なる人と交流したことがある	82.9	78.7	4.2	
17	英語の学習や外国のの人と触れあうことに関心がある	67.3	69.6	-2.3	
18	学習塾に通っている	54.7	44.6	10.1	
19	学習した内容について、家で、自分なりに整理し直したり、より深く調べたりしている	57.2	59.2	-2.0	
20	学校で、将来の夢や目標について考える学習や活動をした	82.9	81.0	1.9	
21	学校の授業で、私語が少なく、落ち着いた雰囲気の中で学習ができていた	78.6	74.5	4.1	
22	自分で計画を立てて勉強をしている	65.8	66.6	-0.8	3.4
23	学校の宿題をしている	98.1	96.8	1.3	0.7
24	学校の授業の予習をしている	51.4	49.6	1.8	5.6
25	学校の授業の復習をしている	62.3	61.5	0.8	13.3
26	苦手な教科の勉強をしている	61.1	61.3	-0.2	
27	テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強している	59.4	61.7	-2.3	
28	授業のはじめに、学習のねらいや目標が示されていた	91.4	86.8	4.6	2.8
29	授業の中で、自分の考えをもつ時間があつた	93.0	90.8	2.2	
30	授業の中で、グループで様々な考えを出し合ったり、考えを深め合ったりしていた	90.2	88.9	1.3	
31	授業の中で、学級全体で話し合いをしていた	70.0	75.1	-5.1	
32	授業の終わりに、学習のまとめや振り返りをしていた	85.3	80.4	4.9	4.3
33	「総合的な学習の時間」の勉強は好きだ	72.5	74.7	-2.2	
34	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思う	86.2	85.3	0.9	-3.0
35	国語の勉強は好きだ	59.6	55.6	4.0	1.6
36	国語の授業の内容はよく分かる	79.2	77.2	2.0	-3.3
37	読書は好きだ	78.3	74.6	3.7	4.0
38	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	92.3	90.1	2.2	2.8
39	社会の勉強は好きだ	65.5	62.5	3.0	
40	社会の授業の内容はよく分かる	79.2	75.2	4.0	
41	社会の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	87.2	86.5	0.7	
42	数学の勉強は好きだ	63.9	63.6	0.3	-4.3
43	数学の授業の内容はよく分かる	80.8	78.4	2.4	-3.5
44	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	90.5	91.9	-1.4	3.3
45	理科の勉強は好きだ	76.7	74.4	2.3	
46	観察や実験を行うことは好きだ	86.5	84.7	1.8	
47	社会の授業の内容はよく分かる	89.6	84.2	5.4	
48	社会の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	78.9	76.9	2.0	

県との差

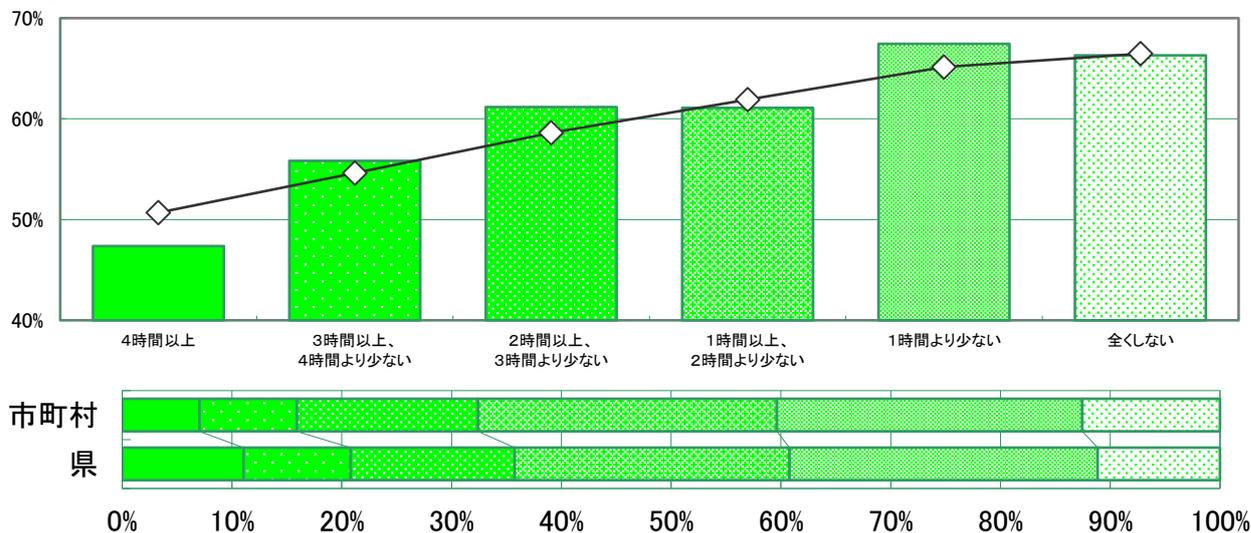


## 正答率クロス集計

■ 市町村    ◇ 県

ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームもふくむ。)をしますか。

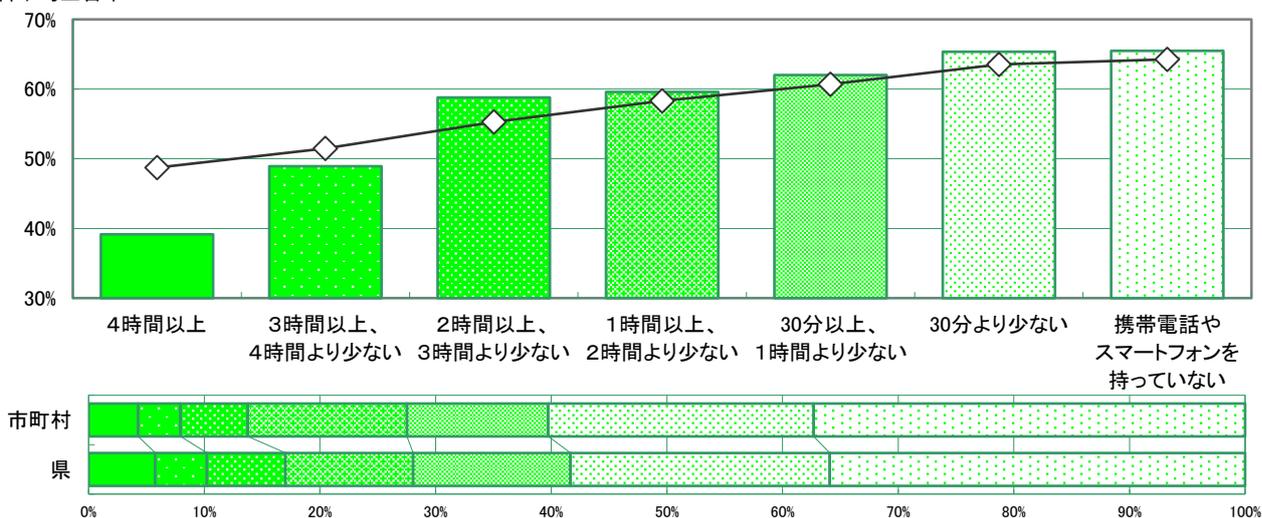
4教科平均正答率



ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。

(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く。)

4教科平均正答率



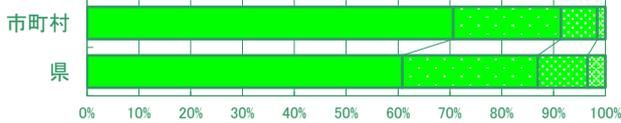
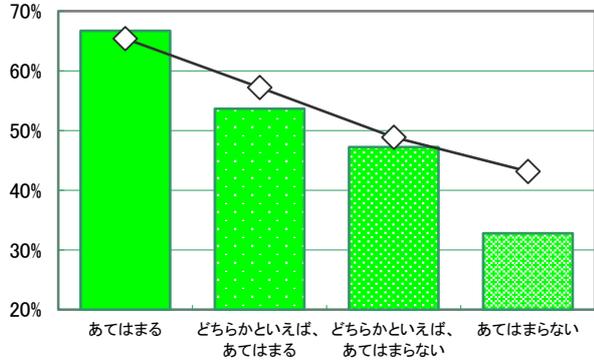
ゲームの使用時間、携帯電話やスマートフォンの利用時間が長いほど、正答率が低くなる傾向が見られ、ゲームの使用時間、携帯電話やスマートフォンの利用時間と正答率には相関関係が見られる。この結果から、メディアの適切な利用について、今後指導を充実していくことが、学力向上にも繋がると考えられる。

## 正答率クロス集計

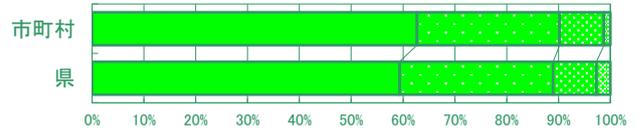
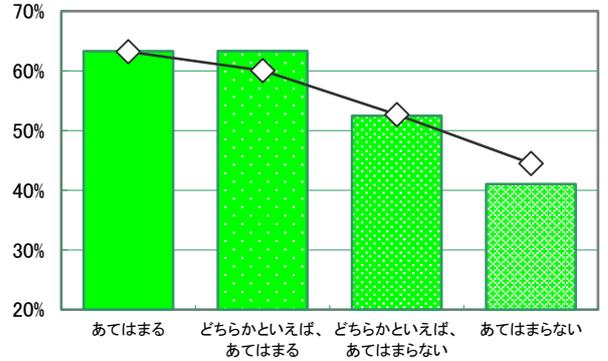


☆ 学校では、どのように学習が進められていましたか。  
授業のはじめに、学習のねらいや目標が示されていた

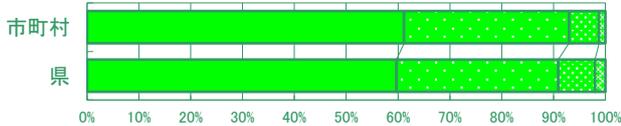
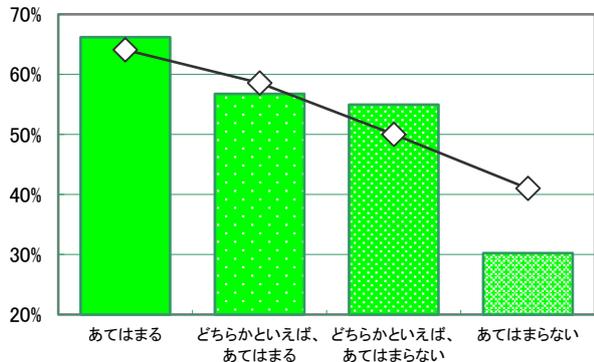
4教科平均正答



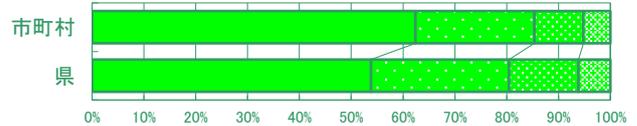
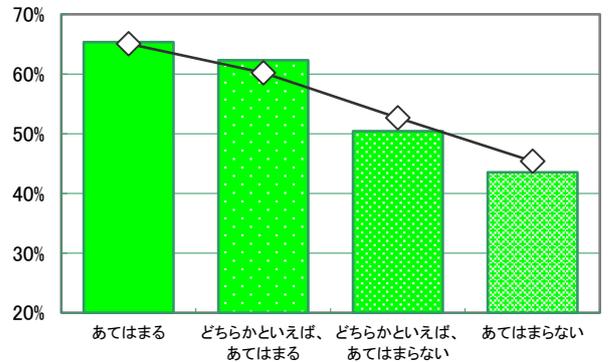
授業の中で、グループで様々な考えを出し合ったり、考えを深め合ったりしていた



授業の中で、自分の考えをもつ時間があった



授業の終わりに、学習のまとめや振り返りをしていた



「授業のはじめに、学習のねらいや目標が示されていた」「授業の中で、自分の考えをもつ時間があった」「授業の中で、グループで様々な考えを出し合ったり、考えを深め合ったりしていた」「授業の終わりに、学習のまとめや振り返りをしていた」という授業の構成に関する項目については、いずれも県平均を上回り、岡山型学習指導のスタンダードの『授業5』に基づいた授業構築が進んでいる状況が見られる。

また、これらの項目の解答状況は正答率と相関関係が強く表れており、肯定的に回答した生徒は正答率が高い傾向が見られる。

### 3 岡山県学力・学習状況調査結果の特徴

#### 1 学力調査結果のまとめ

##### (1)国語

教科全体の平均正答率は県平均正答率と比較して0.4ポイント高く、県平均と同程度の学力がある。領域別、観点別に見ても県平均と同程度の学力が認められる。  
設問別の正答率に注目すると、「主語と述語の関係の理解」を問う設問において、県平均正答率を7.4ポイント下回り課題が見られた。

##### (2)社会

教科全体の平均正答率は県平均正答率と比較して2.0ポイント高く、県平均と同程度の学力がある。領域別に見ると、「我が国の政治の働き」の領域で県平均正答率よりも5.5ポイント高いところに特徴が見られるが、その他の領域、観点においてはどの項目も県平均正答率と同程度の学力が認められる。  
設問別の正答率に注目すると、「岡山県の河川について、その名称と位置の理解」を問う設問において、県平均正答率を8.0ポイント下回り課題が見られた。また、「北方領土の構成や背景の理解」を問う設問において、県平均正答率を7.3ポイント下回り課題が見られた。

##### (3)数学

教科全体の平均正答率は県平均正答率と比較して1.7ポイント高く、県平均と同程度の学力がある。領域別、観点別に見ても県平均と同程度の学力が認められる。  
設問別の正答率に注目すると、「分数の除法（約分あり）の計算」を行う設問において、県平均正答率を4.0ポイント下回り課題が見られた。

##### (4)理科

教科全体の平均正答率は県平均正答率と比較して0.8ポイント高く、県平均と同程度の学力がある。領域別、観点別に見ても県平均と同程度の学力が認められる。  
設問別の正答率に注目すると、「気体の体積の割合」を問う設問において、県平均正答率を6.4ポイント下回り課題が見られた。また、大問題ごとに見ると、「電流のはたらき」の領域については、いずれの問題も県平均を下回り課題がある。

#### 2 学習状況調査の特徴

これまで過去の各種調査と同様に、「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した生徒が、県平均と比較して高く、地域への関心の高さが窺える。  
「学習塾に通っている」と回答した生徒は、県平均と比較すると10.1ポイントも高い。  
「授業のはじめに、学習のねらいや目標が示されていた」「授業の中で、自分の考えをもつ時間があつた」「授業の中で、グループで様々な考えを出し合ったり、考えを深め合ったりしていた」「授業の終わりに、学習のまとめや振り返りをしていた」という授業の構成に関する項目については、いずれも県平均を上回り、岡山型学習指導のスタンダードの『授業5』に基づいた授業構築が進んでいる状況が見られる。  
また、これらの項目の解答状況は正答率と相関関係が強く表れており、肯定的に回答した生徒は正答率が高い傾向が見られる。  
「学校の授業の復習をしている」「学校の授業の予習をしている」と回答した生徒が、昨年行われた全国学力・学習状況調査時(小6)より、それぞれ復習13.3ポイント、予習5.6ポイント上昇しており、家庭学習の状況に改善が見られる。  
「自分には良いところがあると思う」と回答した生徒の割合は、県平均と比較して3.8ポイント低く自己肯定感の低さが危惧されるが、昨年行われた全国学力・学習状況調査時(小6)より、3.7ポイント上昇しており改善の兆しが現れてきている。  
「各教科について、勉強は好きだ」と回答した生徒の割合が、いずれの教科も県平均と比較して高い。